



2026年3月期 第2四半期 (中間期) 決算短信 (日本基準) (連結)

2025年11月14日

上場会社名 築地魚市場 株式会社

上場取引所 東

コード番号 8039 URL <https://www.tsukiji-uoichiba.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山崎 康司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長

(氏名) 大竹 利夫

TEL 03-6633-3510

半期報告書提出予定日 2025年11月14日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期 (中間期) の連結業績 (2025年4月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	30,941	5.7	275	315.0	310	225.5	216	191.6
2025年3月期中間期	29,272	5.8	66	—	95	521.1	74	244.7

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 555百万円 (—%) 2025年3月期中間期 △20百万円 (—%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	97.58	—
2025年3月期中間期	33.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	19,766	7,031	35.6	3,162.52
2025年3月期	16,602	6,537	39.4	2,946.60

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 7,031百万円 2025年3月期 6,537百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	35.00	35.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期 (予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 3月期の連結業績予想 (2025年 4月 1日～2026年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,500	1.7	480	58.5	480	45.3	380	32.1	169.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) , 除外 — 社 (社名)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P.7「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	2,253,520 株	2025年3月期	2,253,520 株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	29,985 株	2025年3月期	34,920 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	2,219,995 株	2025年3月期中間期	2,245,091 株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善が続くものの、物価上昇の影響により個人消費の伸びにも陰りが見られ、景気の回復は足踏み状態となっております。また、米国の高関税政策等による通商問題、円安による輸入物価の上昇による影響や、ウクライナ、中東情勢など地政学的リスクの長期化により景気の下押し圧力となる不確定要素も多く、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画「MF-2026 Move Forward 2026」の2年目として「旧来型の荷受会社から、広範な機能を有する販売会社への転換を図る」べく、課題解決に向けた様々な取り組みを実行しております。

当社を取り巻く水産物卸売業界におきましては、外食、観光、インバウンド関連消費は伸長していることにより業務筋への販売は総じて順調でしたが、海水温上昇等の影響による大衆魚の漁獲減少や円安による輸入水産物の高騰により単価は高止まりしております。また食品全般におきましても、原材料費・物流費や人件費等の上昇による値上げが相次ぎ、消費者の生活防衛意識はより一層高まっており、厳しい業界環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループの売上高は30,941百万円(前年同期売上高29,272百万円)と前年を上回ることができ、水産物卸売業においては物流の改善効果もあり収益性が向上し、また冷蔵倉庫業は増収に加え業務効率化により、営業利益は275百万円(前年同期営業利益66百万円)、経常利益は310百万円(前年同期経常利益95百万円)、親会社株主に帰属する中間純利益216百万円(前年同期親会社株主に帰属する中間純利益74百万円)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は19,766百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,163百万円増加いたしました。流動資産は9,796百万円となり、2,621百万円増加いたしました。これは主に棚卸資産が増加したことによるものです。固定資産は9,970百万円となり、542百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券の時価評価にともなう含み益の増加によるものです。当中間連結会計期間末の負債は12,734百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,669百万円増加いたしました。流動負債は8,622百万円となり、2,690百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が増加したことによるものです。固定負債は4,112百万円となり、21百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少によるものです。

当中間連結会計期間末の純資産は7,031百万円となり、前連結会計年度末に比べ、494百万円増加いたしました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の39.4%から35.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては2025年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	856	1,437
売掛金	3,524	4,209
商品及び製品	1,916	3,221
原材料及び貯蔵品	77	82
その他	823	868
貸倒引当金	△22	△23
流動資産合計	7,175	9,796
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	4,277	4,275
その他 (純額)	2,196	2,207
有形固定資産合計	6,474	6,482
無形固定資産	250	238
投資その他の資産		
投資有価証券	2,291	2,818
その他	459	488
貸倒引当金	△47	△58
投資その他の資産合計	2,702	3,248
固定資産合計	9,427	9,970
資産合計	16,602	19,766
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,793	2,952
短期借入金	2,339	4,789
未払法人税等	68	99
賞与引当金	77	97
その他	653	683
流動負債合計	5,931	8,622
固定負債		
長期借入金	2,580	2,360
繰延税金負債	260	416
退職給付に係る負債	476	496
資産除去債務	331	333
その他	484	505
固定負債合計	4,133	4,112
負債合計	10,065	12,734

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月 30 日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2, 045	2, 045
資本剰余金	1, 009	1, 011
利益剰余金	2, 985	3, 124
自己株式	△105	△90
株主資本合計	5, 934	6, 090
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	582	921
繰延ヘッジ損益	-	0
土地再評価差額金	19	19
その他の包括利益累計額合計	602	941
純資産合計	6, 537	7, 031
負債純資産合計	16, 602	19, 766

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月 30 日)
売上高	29,272	30,941
売上原価	27,270	28,634
売上総利益	2,002	2,306
販売費及び一般管理費	1,935	2,030
営業利益	66	275
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	45	56
その他	6	8
営業外収益合計	52	65
営業外費用		
支払利息	13	21
関係会社貸倒引当金繰入額	9	10
その他	1	0
営業外費用合計	23	31
経常利益	95	310
特別利益		
投資有価証券売却益	4	-
特別利益合計	4	-
税金等調整前中間純利益	100	310
法人税等	25	93
中間純利益	74	216
親会社株主に帰属する中間純利益	74	216

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
中間純利益	74	216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△94	338
繰延ヘッジ損益	-	0
その他の包括利益合計	△94	338
中間包括利益	△20	555
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△20	555
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	水産物卸売業	冷蔵倉庫業	不動産賃貸業	合計	調整額 (注) 1	中間連結損 益計算書計 上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	28,501	691	79	29,272	-	29,272
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	139	-	139	△139	-
計	28,501	831	79	29,412	△139	29,272
セグメント利益又は損失(△)	△172	196	42	66	-	66

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	水産物卸売業	冷蔵倉庫業	不動産賃貸業	合計	調整額 (注) 1	中間連結損 益計算書計 上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	30,138	725	76	30,941	-	30,941
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	152	-	152	△152	-
計	30,138	877	76	31,093	△152	30,941
セグメント利益	16	223	35	275	-	275

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。